

湯来ふるさと新聞

第22号(平成20年9月3日発行)

738-0513
広島市佐伯区
湯来町伏谷 535
湯来ふるさと
プロジェクト
☎0829-86-1439

安佐地区の連合子ども会が大挙して湯来に!

8月9日(土)・10日(日)に、安佐北区安佐地区の子ども会180人余り(大人も含む)が、湯来にきました。湯来二ユーツーリズム推進実行委員会のプランで、カヌーやこんにゃく作り、薪割り体験などをしようとして来町したものです。

カントリーポケット湯来のメンバーは、9日の夕食と10日のこんにゃく作り体験を、湯来ふるさと探検隊のメンバーは、薪割りに体験の指導者として協力しました。3種類のおむすびは、パツとつまんでホイッと口に入れることができるように全て小さめににぎりました。子持ちこんにゃくの天ぷらが



好評で長蛇の列。もぎたてぎゅうりの味も大好評でした。

10日は午前9時から、1グループ約30人のこんにゃく作り体験を、3回(合計約90人)行いました。会場は湯来西公民館の調理室。外の鎮守の森では、薪割り体験が行われていました。(忙しくて、写真を撮ることができませんでした)

こんにゃく作りの指導者助っ人として川角の本平さんと下伏の中田さんに来ていただきました。そして、9キロのこんにゃく芋から、小さめのこんにゃく玉を沢山作って、お土産に持って帰ってもらいました。



湯来での体験を満足していただけたでしょうか?また、来てください。

やる気満々!! チェンソー講習会

8月23日(土)と24日(日)に、農村環境改善センターでチェンソー講習会が開催されました。受講生は約50人。日頃、チェンソーを使って仕事をしている人から、森林ボランティアとして活動している人、そして、チェンソーに触るのは初めてという人までいました。



講師は、安田林業の安田さんと中国マシンの西本さん。両氏ともチェンソーに詳しく、実体験、実践に基づいた講義内容だったので、とてもよくわかりました。

お楽しみは実技です。チェンソーを分解して、そうじをし、丸やすりで目立てをし、実際に丸太を切ってみました。目立てが上手にできているチェンソーは、楽に早く丸太が切れました。しかし、目立てが不十分なものは、ぐいぐい押しつけ、チェンソー

をのこぎりのように使ったり...と一目瞭然でした。



安田さんの「受け口切り」は流石でした。数人の受講生が意気込んで挑戦したものの結果は散々...でした。

二日間で16時間。びっしの講習会でしたが、受講生はしっかりと、修了証を手にしました。

そばの種を播きました

8月31日(日)に、こんにゃく畑の隣に、そばの種を播きました。生育が楽しみです。畑の様子を、随時HPで更新します。湯来ふるさとプロジェクトで検索を。



お知らせ

●9月7日(日)は、狐原山の植生勉強会です。お誘い合わせてお集まりください。当日は、体育館でバスケットボールの大会があります。駐車場は狐原山麓の三角駐車をご利用ください。

●インターネットを利用した町づくりについて語り合う集会

湯来町多田が「衛星プロードバンド普及推進協議会」が行う実証実験の地域に選ばれました。これをきっかけに「インターネットを使ってどのような町づくりができるか」をテーマにした集いが開催されます。

どなたでも参加OK。インターネットやパソコンを利用したことがない方にこそ聞いていただきたいのことです。

日時 9月10日(水)午後7時から9時半(途中参加OK)

会場 サンピアゆき

参加料 200円(会場費)

講師 松波龍一(松波計画事務所) 河口知明(広島市アキハバラ塾)

問い合わせ 月江さん(090-7549-5281)